

川角駅学園口駅前広場等整備工事に伴う地区説明会 主な質疑応答

○道路の整備内容について

Q 町道第6号路線の拡幅予定はあるのか。また、駅南北を結ぶ跨線橋の予定はあるのか。

A 「現道の歩行者通行量が多く沿線の皆様が道路の利用に苦慮している。別ルートでの整備を」という地域要望を踏まえ今回の新道整備となった。現時点では現道拡幅や跨線橋の予定はない。

Q 現状の学生の流れは、この道路ができることにより変わるのか。

A 現状は学園口改札を出て東西に分かれ、主に日本医療科学大学の学生は東から町道第6号路線を、城西大学や明海大学の学生は西から複数の既存町道を利用している。
道路完成後はアクセス道路利用がメインとなるよう、大学と連携して促していきたい。

Q 学園口改札前の歩行者の通行量は。

A 平日の一番学生が多い午前8時～9時の1時間で、約2,300名が通行している。

Q 歩道の幅員は十分か。両側歩道にしないのか。現状から考えると拡幅すべきでは。

A 歩行者通行量をもとに道路設計基準等に照らして幅員2.5mで足りると考えている。また、交通協議で多くは西側の大学方面に向かうため両側歩道とすると車道横断の危険が高くなることを考慮し、片側歩道とするよう指導があったことなどから片側歩道とした。供用開始後の状況を見て対応が必要な場合、方策を検討したい。

Q 星宮神社前五差路から上り方面に向かう場合、現道とアクセス道路で距離は変わるか。

A 上り方面に関しては約30m短くなる。

○道路付属物等について

Q 駅前広場及びアクセス道路に照明灯は設置されるのか。

A 駅前広場とアクセス道路で13本の道路照明灯を設置する予定である。なお、地域性も考慮して深夜は光量を落とすことができる仕様としている。

Q 町道第6号路線の歩道整備区間に照明灯は設置されるのか。

A 設置の予定はない。必要に応じて防犯灯の設置等を検討する。

Q アクセス道路と町道第6号路線の交差点に信号は設置されるのか。

A 交通協議により信号設置の予定はなく一時停止の形式となる。供用開始後の交通状況を見て必要性等を検討することになる。

Q 植樹樹がいくつか予定されているが、管理のことを考えてやめるべき。

A ご意見も踏まえて立木はやめて花など管理が簡便なものにするるとともに、地元や大学と管理についての連携を検討したい。

○排水について

Q 排水路整備で管径φ400mmからφ450mmに大きくすることだが足りるのか。

A 降雨強度約100mm/hで駅前広場とアクセス道路を含む当該エリア約8haの排水を処理するために必要な大きさとなっている。

Q 町道第6号路線で側溝や集水柵などで排水が噴き出すことがあるので対応願いたい。

A 今回の排水路整備後の状況を見て対応を検討したい。

Q 町道第4002号路線で雨水排水に支障をきたしているのを改善いただきたい。狭隘道路のため寄附採納によりセットバックしての側溝整備は可能か。

A 当該箇所の冠水状況は把握しているので、雨水排水対策を検討したい。寄附採納による拡幅は側溝整備が必要な場合などは可能。費用対効果や財源確保などを勘案して、整備方法を検討する。

Q 今回の排水路整備で下川原地区の雨水排水問題は解決されるのか。

A 今回の排水路整備は整備エリアの排水処理の最下流の整備として必要なものであり、地区全ての雨水排水問題を解決できるものではない。今後も引き続き、地区の皆様の声を聴きながら、順次課題解決に向けて検討していく。

Q 町道第6号路線の側溝等に汚泥が堆積している。

A 現地確認のうえ対応する。

○その他

Q ゴミや吸い殻が捨てられないよう対応してほしい。

A 大学と連携してポイ捨て防止の啓発やクリーン活動などを実施したい。